

全労連第 32 回定期大会によせられた 国際組織、海外友好組合・団体からのメッセージリスト

(21 カ国、26 組合/組織、3 国際/地域組織)

2024 年 7 月 25 日正午現在
全労連国際局仮訳

オーストラリア労働組合評議会 (ACTU)

オーストラリア労働組合評議会を代表し、第 32 回定期大会の機会に全労連とその加盟組織、大会参加者の皆さんにごあいさつを送ります。

みなさんの大会は、生活費の上昇、気候変動、平和と民主主義への攻撃という豪日両国、そして世界の労働者にとって重要な時期に開催されています。私たち労働組合運動にとって、公平、公正で平和な世界を目指すたたかいに共に立ち上がることが不可欠です。

オーストラリアの労働組合運動を代表して連帯を、そして大会の成功を祈念しています。労働者と労働組合の権利を守り、働く人々にとってより良い世界を作るために、みなさんと運動を共に運動することを楽しみにしています。

ACTU 議長
ミシェル・オニール

韓国・民主労働組合連盟 (民主労総 KCTU)

(ビデオメッセージ)

全労連の同志の皆さん、こんにちは。私は民主労総委員長のヤン・ギョンスです。私からみなさんに強力な連帯メッセージを送ります。

全労連第 32 回定期大会の成功をお祝いします。この大会は、2 年間の運動を総括し、新たな 2 年間の運動方針を活発な議論で決定することを願っています。そして力強い新執行部が選出されることも期待しています。

世界中の労働者が実質賃金低下に直面し、苦しい生活を強いられています。金利や生活費が上昇する一方、賃金は上がっていません。そして労働者の権利は後退しています。

全労連は今回の大会で 3 つの柱の方針を採択すると聞いています。まず賃金引き上げ、労働時間短縮と岸田労働法制改悪の阻止。2 つ目に新自由主義改革に対抗する公共の再生。3 つ目に東アジアの平和の実現です。私はこれらの方針に心から賛同します。

日本と韓国の労働者の状況は多くの点で共通しています。昨年私が訪日した時、ちょうど最賃引き上げの闘争の真最中でした。韓国の労働者も実質賃金の低下に苦しんでいます。

ユン・ソニョル政権の抑圧と労働改悪によって私たちは多くの課題に直面しています。そのため、民主労総は「ユン政権退陣」をスローガンに掲げ、労働組合以外の社会運動と広範な連携を構築しようとしています。

韓国社会では出生率が極端に低下し、日本では高齢化が急速に進んでいます。韓国でも、労働力人口の平均年齢は急速に上昇しています。社会の持続可能性が危険にさらされています。そのような状況下で、労働組合が団結してその力を社会変革に使うならば、私たちは社会の持続可能性を維持し、労働者の権利を守ることができます。

岸田政権とユン政権は、同じように富裕層への税金を引き上げ、低所得層への社会保障給付を削減しています。日米韓の軍事同盟をもとに軍事的緊張をあおる現在の日韓の政権は、労働者の敵だと言えます。

だからこそ民主労総と全労連は、連帯して運動と闘争を進めていきましょう。今日、民主労総の心は、大会参加のみなさんと共にあります。民主労総は労働者の権利、労働時間短縮と賃金引き上げ、質の高い公共サービスを求め、戦争に反対するみなさんとともにたたかいます。

8 月には、民主労総の仲間が日本で行われる浮島丸沈没事故の追悼式典に参加します。私たちの間の交流と連絡をより頻繁にしていくことによって、この困難な局面をともに乗り得ることができると思います。再度、この全労連大会がこれまでの運動を的確に総括し、これからの確固とした運動方針を確立されることへの期待をお伝えします。全労連と民主労総の力強い連帯で、ともに社会を変えていきましょう。

大会への祝意を再度申し上げます。民主労総は常に全労連のたたかいを支持していることを忘れ

ないでください。

ありがとうございます。闘争！

民主労総委員長 ヤン・ギョンス

中華全国総工会 (ACFTU)

親愛な仲間のみなさん、

2024年7月29日から2日間、全労連が東京で第32回定期大会を開催することを伺い、私たち中華全国総工会(ACFTU)は大変うれしく思っています。全労連第32回定期大会の大成功を祈念いたします。

全労連は長年にわたり、労働者の権利と利益を擁護し、労働者の労働、生活水準を改善し、平和と民主主義を守るため、一連のキャンペーンと労働運動にとりくんできました。3月の春闘における全労連の大きな成功を私たちは心から祝福いたします。新指導部のもと、全労連が収める成果はまったく新たな段階に到達することを確信しています。

中華全国総工会と全労連は、二国間交流を確立して以来、友好と連帯の強化にむけて協力してきました。中華全国総工会は、全労連とのコミュニケーションと協力を強化し、両国の労働者の権利と利益を共同で守り、また国際労働運動と地域労働運動のなかで相互のコミュニケーションと理解を強化し、民主的で連帯した労働運動を発展させる用意ができています。全労連の新指導部とともに、全労連と中華全国総工会の関係が今後も健全に発展することを大いに期待しています。

中華全国総工会

フィリピン進歩労働同盟 (SENTRO)

グローバルな労働運動の原点は連帯です。国文化、社会といった想像しうるかぎりの境界を越えて私たち労働者が共有する経験をとおして、私たちのあいだには断ち切ることのできない強い絆が生まれます。国家や企業が国際的に発展するはるか以前から、労働運動は国際的な協力と連帯を構築してきました。私たちが激化する地政学的緊張に直面するいま、こうした事実は極めて重要です。私たちのきわめて身近で軍拡競争が繰り広げられているいま、フィリピンと日本の労働者は、先頭に立って激化する軍国主義に警鐘を鳴らさなければなりません。

全労連第32回定期大会の開催に際して、私たちフィリピン進歩労働同盟(SENTRO)は全労連

のみなさんに熱い挨拶をお送りします。全労連が貴大会のなかで提起する喫緊の課題は、まさにフィリピンの労働者が直面する課題です。みなさんが感じている生活、賃金、権利に対する脅威は、まさに私たちが極めて身近に感じる脅威です。経済社会政策を新自由主義から切り離すことが急務だという全労連の認識は、民営化や商業化がいつそう激しくなる時代において依然、極めて重要です。

さらに重要なことは、私たちが軍国主義化と民主主義の弱体化に抵抗する全労連のとりくみに刺激されているということです。グローバルな労働運動のなかの主要な組織が地域的な戦争や大国間の対立に直面して沈黙を守っているいま、私たちの労働運動は、軍国主義を否定し平和を求める声を響かせなければなりません。残忍で愚かなかつての戦争で傷ついた国の労働者として、フィリピンと日本の労働者は、利益を求める大国が引き起こす新たな戦争に抵抗する十分な理由があります。大国が競い合うこんにち、私たちは国粹主義や愛国主義によって国の世論が揺れ動いていることを危惧します。私たちは早急に平和と国際連帯の政策を示さなければなりません。私たちは、全労連がその立場で積極的にたたかう組合であることをうれしく思っています。

私たちは全労連第32回定期大会の成功を祈念します。私たちは労働者階級の地位向上と解放を求める共通のたたかいのなかで、さらに協力することを期待します。これまで私たちがつねにとりくんできたように平和、互いの成功、私たちの権利の完全な実現にむけてともにたたかきましょう。

国際連帯万歳！

全労連万歳！

ベトナム労働総連合 (VGCL)

親愛な黒澤幸一同志、

全労連第32回定期大会に際して、ベトナム労働総連合(VGCL)の組合員1,250万人を代表して、黒澤同志と全労連のみなさんに連帯の挨拶をお送りします。

私たちは、物価上昇や実質賃金の下落に苦しむ日本の労働者や労働組合が直面している課題を共有しています。最低賃金の引き上げをはじめ、雇用を守り、労働者の所得を増大させることは、ベトナムの労働組合が長年にわたって多くの注意を払い、多くの資源を使ってとりくんできた重要な課題です。ですから私たちは、全労連が先の春闘

で歴史的な大幅賃上げを勝ち取ったことを祝福します。この大幅賃上げ獲得は、先に述べた背景のなかで、労働者にとって極めて重大な意味を持ちます。しかし私たちは、これが全労連の不断のたたかい、また私たちに共通のたたかひの終わりではないことを知っています。

VGCLは、各国、各企業の持続可能な発展、また労働者の雇用と生活にとって、平和で安定した国際環境が重要であることを常によく理解しています。そのため私たちは、全労連をはじめとする世界中の平和を愛するすべての進歩的勢力による平和を推進し維持する努力を強く支持しています。VGCLは、今後も私たち両組織間の友好と連帯を強化し、公正で平和な世界に向けて、労働者と労働組合の権利を守るという共通の目標の達成にむけてとりくむことを願っています。また、40年近くにおよぶ全労連の同志や仲間のみなさんの継続的な支援に対し、心から感謝を表します。第32回全労連定期大会の成功を祈念するとともに、全労連の新執行部との建設的な協力を楽しみにしています。

連帯を込めて

ベトナム労働総連合（VGCL）議長
グエン・ディン・カン

インドネシア福祉労働組合総連合（KSBSI）

全労連の仲間のみなさん、全ての参加者のみなさん、東京で開催される全労連第32回定期大会に際して、インドネシア福祉労働組合総連合（KSBSI）の組合員912,000人を代表し、大会に参加されている私たちの仲間のみなさんに挨拶をお送りします。

いま私たちは、技術の発展から深刻化する気候変動の影響にいたるまで、一生のなかで最大の過渡期に立っています。過去数十年にわたって急速な技術の進歩は、つねに産業と労働市場を作り変えながら、労働者に機会と課題をもたらしてきました。自動化とデジタル化は、生産性を向上させるいっぽうで、労働を大きく変化させました。さらに拡大する気候変動の影響は、世界中の労働者の安全、生活、幸福に大きなリスクをもたらしています。

世界が変化し、環境破壊が進むにつれて、世界中の労働者が受ける影響はますます大きくなっています。こうした変化によって、労働者の権利が損なわれ、仕事が失われ、雇用が不安定になり、そ

して労働者のあいだで最も懸念されていることは雇用の保障です。こうした状況が強調しているものは、労働者の声を支持する労働組合の極めて重要な役割です。この困難な時代において、労働組合の連帯がなくてはなりません。私たちの声を響かせなければなりません。連帯した私たちには影響力があります。私たちは連帯し、世界中の労働者、とりわけ日本とインドネシアの労働者に建設的な変化をつくりだしましょう。

私たちは貴大会の建設的な成功を祈念します。みなさんの議論が建設的な対話、協力の精神、私たちが共有する課題に対する揺るぎない連帯にあふれたものとなることを期待します。

私たちの友情と連帯が今後さらに強くなることを祈念します。

インドネシア福祉労働組合総連合（KSBSI）
議長 エリー・ロシータ・シラバン

ミャンマー建設木材労働者連合（BWMF）

大会代議員、全国の執行部、来賓、同志のみなさん、全労連第32回定期大会に際して、ミャンマー建設木材労働者連合（BWMF）の全組合員は、野蛮な軍事政権とたたかう民主的抵抗勢力を構成する労働者、その家族、地域社会とともに、みなさんに国際連帯のメッセージをお送りすることを大変誇りに、また嬉しく思っています。

労働組合の結成は難しいことです。自由で独立した労働組合の結成はさらに困難です。ですから労働組合運動にとって最も困難なことは、労働組合が存続し、活動し続けることです。

全労連が日本でいきいきした労働組合運動を確立し、維持するため、忍耐強くたたかっていることは、全労連第32回定期大会の高い評価によって証明されています。私たちは全労連のみなさんに心からお祝いを申し上げます。

ミャンマーの労働組合運動を考えると、私たちはつねに全労連をはじめとする日本の労働組合運動の同志のみなさんのことを思い、感謝しています。軍事政権を打倒し、労働者と労働組合の基本的権利を回復するための私たちのたたかひにみなさんは連帯と友情を示してくれました。

歴史のなかで最も困難な時期にある私たち組合員に示してくださったみなさんの支援を私たちはけして忘れることなく心に抱き続けています。軍事政権のもと、ミャンマーの労働組合運動は地下で活動しています。しかし私たちは結社の自由、

集会の自由、表現の自由、基本的人権といった権利を求めるたたかいはあきらめません。私たちが民主的抵抗勢力にかかわることによって、ミャンマーの労働組合運動は存続します。軍事政権は、私たちを投獄することはできても、自由で独立した民主的な国を求める私たちの精神と切望を抑圧することは決してできません。

全労連は、私たちのたたかいが労働者、労働組合、私たちの組合員の権利のみならず、若者、女性、障害者、先住民族といった社会的弱者の労働条件や生活条件を改善するために、社会のあらゆる分野を視野に入れていることを理解しています。

私たちは全労連が日本におけるたたかいのみならず、国際主義を志向し、世界中で展開される国際行動に連帯していることに敬意を表します。ミャンマー建設木材労働者連合は、全労連のみなさんの偉大な貢献ととりくみにつねに刺激を受けています。

私たちは危機に直面していますが、全労連の支援とともに、ミャンマーの労働組合運動を存続させ、どんなに困難であろうとも、たたかいはあきらめません。私たちが全員で蒔いた労働組合運動の種は成長し続け、やがて私たちはその成果を手に入れるでしょう。それこそがみなさんの連帯に応えることだと思っています。

労働者が存在する限り、草の根の運動が存在する限り、労働組合は逆境を乗り越えなければなりません。ミャンマー建設木材労働者連合は、全労連第 32 回定期大会の成功とさらなる発展を祈念しています。

連帯をこめて

ミャンマー建設木材労働者連合(BWFM) 委員長
ミン・ミン・ラッ

インド新労働組合イニシアチブ (NTUI)

全労連第 32 回定期大会代議員のみなさん、全労連第 32 回定期大会に際して、インド新労働組合イニシアチブ(NTUI)は日本の労働者階級をリードする全労連指導部と全労連の組合員のみなさんに心から挨拶を送ります。

私たちはこの機会に、26 年ぶりの大幅賃上げを達成した全労連の力強い春闘に敬意を表します。このたたかいは、資本主義による日本の実質賃金に対する 26 年来の絶え間ない攻撃を全労連が覆すというきわめて重大な前進を記しました。私たちは全労連の今後のたたかいがさらに強化される

ことを確信しています。といたしますのも全労連組合員のなかで大多数を占めるにちがいない女性労働者、青年労働者、不安定雇用労働者の組織化をとおして、全労連がさらに組合のパワーを高めているからです

日本やインドを含む世界中のすべての退行する政府は、全労連のみなさんが大会を開催するいまの世界を「不確実な世界」と呼んでいます。この不確実性は帝国主義勢力が世界の支配を狙った終わりのない対立によって引き起こされています。帝国主義勢力は、ヨーロッパを戦争に駆り立て、パレスチナに対するイスラエルのジェノサイドを認めただけでなく、イスラエルの武装を支援しています。こうした不当な戦争は、長引くコロナウイルスのパンデミックと相まって、19 世紀末以来経験したことのないレベルにまで不平等を拡大しています。

私たちは、資本家が戦争から利益を得て、労働者階級がその利益の代償を支払うことを歴史をとおして知っています。また戦争は人々のなかに悪意と偏見を助長し、分断を引き起こし、過激な感情を醸成し、すべての国々において民主主義を脅かす極右が台頭する基盤を作り出しています。

労働組合は民主主義、正義、平和を支持しています。私たちは、日本国憲法のなかの平和を希求する重要な条項を擁護し、平和な世界をめざす全労連の不変のコミットメントから刺激を受けています。

私たちは、全労連大会の議論と大会決定について何うことを楽しみにしています。私たちは、互いの経験や決意から学ぶことによって向上します。

同志のみなさんに連帯し、みなさんの大会の成功を祈念します。

国際連帯万歳！

インド新労働組合イニシアチブ (NTUI)
書記長 ゴタム・モディ

インド労働組合センター (CITU)

私たちは全労連が東京で 2024 年 7 月 26~27 日、第 32 回定期大会を開催することを知り、嬉しく思っています。

私たちは、全労連が私たち CITU と同様に、労働者による階級闘争の方針を掲げていることを知っています。また労働者の負担が増加しているにもかかわらず賃金を切り下げるといった世界に共通する情勢のなかで、帝国主義的な日本政府がも

っぱら反労働者の政策を採用していることも知っています。資本は企業によるグローバルな活動をとおして、国家を掌握し、運営し、労働組合の権利を削減しています。

私たちは、ILO すら使用者を擁護していることを懸念しています。労働者がその主張の正しさを認めさせる機会はほとんど残されていません。ITUC による ILO の支配によって、ILO のなかですら労働者の権利は妨げられています。

インドでは、右派政権が他の右翼政党に助けられて政権に返り咲き、かつて彼らが採用していた反人民的な政策を提案し続けています。右派政権は、鉱物資源の豊かな森林地帯、優れた機能の公共部門、国有地など国有財産の外国企業への売却を推し進めています。

その一方でいま、国民の民主的権利が野蛮に攻撃されています。政権とそのとりまきの墮落した行為を暴いたことを理由にメディア、ジャーナリスト、俳優、芸人たちが投獄されました。また新たな労働法によって、労働組合の権利が破壊されています。しかし労働組合のセンターの連帯したたたかいによって、その適用は当分の間、凍結されています。

私たちは、こうした資本の猛攻とたたかうために労働者、とりわけ階級闘争を志向する労働者の連帯した運動が不可欠だと思っています。貴大会の成功を祈念しています。

連帯をこめて

全国書記 アミタバ・グーハ

全インド労働組合会議 (AITUC)

親愛な全労連の兄弟姉妹の同志のみなさん、全インド労働組合会議 (AITUC) は、2024 年 7 月 25 ~ 27 日、東京で開催される全労連第 32 回定期大会に際して、連帯メッセージをお送りすることを大変うれしく思っています。すべての代議員のみなさん、そしてみなさんをとおして、日本のすべての労働者に階級的なご挨拶を申し上げます。定期大会は、私たちがこれまでの道のりで経験した試練、勝利、敗北を顧みる機会です。立ち止まり分析する機会です。

労働者の国際連帯がいまほど重要になることは、いまだかつてありませんでした。資本主義の非道で危険な墮落によって、労働者の生活は破壊されています。帝国主義はさらに悪い段階、ハイパー帝国主義に向かっています。帝国主義的戦争によ

って、人々の生活そのものが容赦なく踏みにじられ、人々はさらに困窮しています。持てる者と持たざる者の格差拡大は頂点に達し、困窮を悪化させています。

失業、雇用喪失、低賃金、社会保障の否定、物価の高騰などによって、労働者は一挙に困窮を極めました。選挙をとおして選ばれた政府は、グローバルな金融資本の手先になりさがりました。福祉国家の概念は、自由放任主義的な経済政策を導入するため、完全に放棄されました。選挙で選ばれた政府による野蛮な猛攻撃に対する私たちのたたかいは、全国レベルで絶え間なく続いています。とはいえ私たちのたたかいは、巨大な資本主義を打倒できるほど十分ではありません。

資本主義は地理的な障壁を乗り越えて、その有害な影響力を巧妙に拡大しています。資本主義とたたかい、資本主義を破棄するため、世界の労働者は団結しなければなりません。私たちの国際連帯は、世界の労働者が覚醒し、監視しているという強く深遠なメッセージを明確に伝えるものでなければなりません。資本主義的蛮行を警戒し、監視する戦闘的な労働者階級は、資本主義に引導を渡さなければなりません。

私たち労働者は、暮らすことのできる世界を築いてきました。私たちはこれ以上、帝国主義者による資源の略奪と労働者の困窮を許すわけにいきません。世界が悲しみにあふれ、悲惨な暗闇のなかにあっても、希望の兆しは必ずあります。人々は教訓をいかし、希望に輝く未来に進むべく盛り上がりを見せています。この高揚は、すでに証明された世界的な労働組合運動の伝統です。私たちすべては、東西南北を問わず世界中でこの伝統ある運動にとりくんでいます。フランスは極右勢力を退け、左派、中道勢力を支持しました。イギリスは中道左派の労働党を政権に選びました。イランは改革派指導者を選びました。インドですら、私たちの不断のたたかいをとおしてファシスト政権の「切り崩し」に成功しています。

全労連は一貫して岸田政権、またその政策とたたかっています。私たちに求められているものは、資本主義打倒を一致点にした結集です。私たちの全国レベルのキャンペーンとプログラムは、民主主義の擁護と平和で平等な世界という私たちの目標に向けて、政治を転換することをめざしています。強力で政治性のある戦闘的な労働組合運動だけが、この目標を達成することができます。

いま、政治性のある労働者が不可欠です。労働者階級が政治的イデオロギーにかかわりを持ち、あらためて学習することは、私たちの武器になります。全労連大会が目的達成に向けた戦略を議論し定義し、使命達成に向けた組織戦略を策定することを期待します。

全労連の友人のみなさん、日本は機知に富んだ回復力ある国です。みなさんは最悪の惨禍を耐え、それを再生の力に変える人々です。みなさんは強さと戦闘性を力に威風堂々、存在しています。地方政府におけるみなさんのたたかいは、搾取を狙う政治経済に対する挑戦です。みなさんのパレスチナへの支持は、帝国主義的侵略に断固として反対し、人々に共感を与えています。休むことなくたたかい続けましょう。

同志、友人、兄弟姉妹のみなさん、「万国の労働者よ、団結せよ」の声を海を越え、山を越えて響き渡らせ、労働者のグローバルなパワーを結集しましょう。全インド労働組合会議は全労連の政治的なとりくみに賛同します。全インド労働組合会議は、搾取とのたたかいのなかで日本の労働者に連帯します。平和、正義、平等の世界を築くため、ともに前進しましょう。私たちには勝ち取らなければならない世界があります！

労働者階級の連帯万歳、
世界労連（WFTU）万歳、
全労連万歳、
同志のみなさん、ありがとうございました。
全インド労働組合会議（AITUC）
書記長アマルジート・カウール

ネパール労働組合総連合（GEFONT）

親愛なる同志のみなさん。ネパールのGEFONTから挨拶を送ります。

GEFONT 指導部と組合員を代表し、全労連第32回定期大会の代議員と参加者のみなさんに、心からのご挨拶と連帯を送ります。

私たちは全労連の日本の労働者の権利、社会正義と民主的価値、そして労働者階級の前進のためのコミットメントを賞賛しています。日本の労働者の生活労働条件を向上させ、適切な賃金、労働条件を確保し、日本国憲法と民主主義を守るたたかいに深く共感しています。

ネパールでGEFONTは常に労働者の権利と尊厳のために立ち上がり、社会正義の促進、公正で公平な社会のためにたたかっています。これらの

価値へのビジョンとコミットメントを共有するそのほかの労働組合と共同を広げていることに誇りを持っています。それぞれの力を合わせ、経験を共有することで、互いの成功と課題に学び、究極的にはそれぞれの労働組合の組織の強化につながります。

全労連の皆さんの労働者の権利と社会正義に向けた運動が、今後も私たちを鼓舞し続けると確信しています。全労連組合員の団結と強さが、私たち全員の教訓となります。労働者がグローバルな課題に直面している時、私たちの国際連帯はかつてなく重要です。全労連大会の討論と確立される方針は、日本の労働運動の今後の前進と進歩の礎となることでしょう。

再度、全労連第32回定期大会の機会に全労連と代議員おみなさんに連帯を表明します。正義、平等と両国の労働者の労働条件向上のために、私たちの両組織の間の共同と関係強化を願っています。

国際連帯万歳

GEFONT 書記長 ラクスマン・シャルマ

トルコ進歩的労働組合総連合（DISK）

私たちは全労連が2024年7月25～27日、東京で第32回定期大会を開催することを知り、大変うれしく思っています。この重要な機会に際して、みなさんに挨拶することを光栄に思います。私たちトルコの進歩的な労働組合運動から全労連のみなさんに国際連帯のメッセージをお送りします。

物価の急騰や実質賃金の低下といった日本の労働者階級が直面するたたかいは、世界中の労働者に共感を与えています。この困難な時期のなかで、全労連の効果的なとりくみ、とりわけ春闘の成果は、国際的な労働運動をまさに刺激しています。私たちは全労連の組織強化のとりくみのなかで、女性労働者、青年労働者、不安定雇用労働者をはじめとする全労連の草の根の組合員が積極的な役割を果たしていることを大いに評価します。

またこの機会に日本の労働者、日本人々、とりわけ全労連の組合員のみなさんに心から感謝の意を表します。昨年2月6日に発生した壊滅的な震災の後の全労連の支援は私たちにとってかけがえのないものです。この困難な時期に、みなさんは私たちに寄り添い貴重な支援を提供してくれました。全労連の支援を受けて、私たちは最も震災の被害を受けた都市のひとつ、ハタイに病院を設立します。この病院は、日本とトルコの労働者の

友好と連帯のシンボルになるでしょう。

私たちはみなさんのたたかいの柱を全面的に支援します。すなわち賃上げ、労働時間の短縮、最低賃金の引き上げを求めるとりくみ、持続可能で循環型の経済社会を実現し、新自由主義的な経済社会政策から脱却すること、平和と民主主義を擁護し、軍国主義化を阻止することです。

この重要な機会に際して、私たちはみなさんに敬意を表するとともに、私たちの連帯とみなさんのたたかいの今後のご成功を祈念し、私たちの挨拶とします。

トルコ進歩的労働組合総連合 (DISK)
事務局長タイフン・ギョルグン

イタリア労働総同盟 (CGIL)

親愛な全労連事務局長、

親愛な全労連の兄弟姉妹のみなさん、

全労連が2年毎に開催する定期大会に際して、イタリア労働総同盟 (CGIL) を代表し、挨拶をお送りします。

なによりもイタリア総同盟のマウリツィオ・ランディーニ書記長が全労連大会の成功を祈念しています。物価上昇やインフレ、また労働組合組織が軽視されるいま、労働組合員や労働者の法的かつ正当な権利と利益を保護し、代表する任務は困難を極めています。

欧州はコロナウイルスによるパンデミックの後のウクライナ、パレスチナ、イスラエルにおける戦争、地政学的混乱、民主主義や労働組合の権利と労働者の自由に対するかつてない攻撃がもたらした極めて深刻な事態を耐え忍んでいます。そのことは ITUC の世界労働権利指数が明らかにしています。この事態の代償を払わされるのは労働者と貧困層です。欧州連合は無策のまま、再び緊縮財政政策に向かっています。

私たちは、欧州連合と各国の機関が投資や公共サービスを削減し、その財源を国防と軍事的投資に充てると発表したことを非常に懸念しています。私たちはこの再軍備のロジックに強く反対します。だからこそイタリア労働総同盟は、非常に広範な平和運動とともに平和を守る最前線に立っています。私たちは、紛争を解決する手段としての武器や暴力の使用、また戦争への逆行に反対します。ILO 憲章が基礎とする価値観は平和です。私たちの平和を求める呼びかけに、みなさんが賛同してくださることを願っています。

私たちは、結社の自由と労働組合の自由に対する前例のない攻撃を受けています。私たちイタリア労働総同盟は、第2次世界大戦ののちにファシズムを打倒して以降初めて、2019年にネオ・ファシスト集団から再び攻撃され、私たちの組合本部が破壊されました。私たちは、世界中の多くの労働組合の連帯によって「反ファシスト労働組合国際ネットワーク」を結成しました。極右勢力、民族主義勢力、国家主義、独裁専制政権は、名称や形態をさまざま変えて、私たちの民主主義の回復力に挑み、差別、不寛容、分断、排除、抑圧の思想を押し進めています。こうした暴力によって最初に犠牲になるのは労働組合です。この過激な勢力から労働組合の自由を守る私たちイタリア労働総同盟とりくみに、全労連のみなさんが参加してくださることを願っています。

また私はあらゆる形態の差別、人種差別、ゼノフォビアに反対し、すべての人々のための社会正義と平等のためにたたかうことの必要性を想起しています。

物価の高騰、民主主義の縮小、労働条件の悪化は、グローバルなレベルで阻止しなければなりません。私たちイタリア労働総同盟は11月、賃上げ、権利拡大、職場の安全衛生、くらす年金、労働組合に対するリスペクトを求めてイタリア全土で一連のストライキとデモを組織します。私たちはすでに2023年12月12日ブリュッセルで、緊縮財政への逆行を止めるよう欧州連合の諸機関に同様の要求を行っています。私たちは、労働市場と労働安全衛生に関する最悪の法律を廃棄するため、4つの国民投票を提案し、400万筆以上の賛同署名を集約しました。私たちはいま、広範な人々やと政党と連帯して、メローニ政権が可決した他の法律を撤廃するための署名にとりくんでいます。その法律は、地方により大きな経済的、政治的権限を与え、国の統一を破壊する可能性がある法律です。私たちはイタリアの反ファシスト憲法を改悪しようとする企てに反対しています。極右政権は、議会と共和国大統領に不利になるようにパワーバランスを変化させ、大統領に権力を集中しようとしています。私たちは必ずこの企てを阻止します。

自由で民主的な労働組合に労働者を組織化すること、また職場と全国の団体交渉をとおして労働者を代表することは引き続き、私たちの最優先課題であり、私たちのとりくみの中心です。

全労連定期大会が大きく成功し、貴大会が採択

した今後2年間の方針が連帯、正義、平等をめざすグローバルな共闘にむけた指針になることを祈念し、私たちの連帯挨拶とします。

連帯をこめて

イタリア労働総同盟 (CIGIL) 欧州国際政策局長
サルバドール・マラー

スペイン労働者委員会総連合 (CCOO)

全労連の同志のみなさん、

スペイン労働者委員会総連合 (CCOO) から、東京で開催される全労連の第32回定期大会に参加される兄弟姉妹のみなさんにご挨拶をお送りします。

ここ数年の世界は極めて混乱しています。経済危機、パンデミック、戦争や武力紛争によって、世界各地で民主主義や社会正義が脅かされ、世界の一部地域ではそれらが切り捨てられています。世界各地で何百万人も労働者が権利侵害に苦しんでいることは言うまでもありません。

しかしこうした不利な状況下において、最も求められているものは労働組合運動のパワーです。また同時に私たちはそれを強化しなければなりません。なぜなら私たち労働組合運動こそが職場と社会において民主主義と権利を保障する存在だからです。

政治的変革が求められている日本において、全労連は主要なアクターであり続け、労働の権利と社会的権利のためにたたかい続けなければなりません。

私たち CCOO は全労連の向こう2年間のアクションプログラムの3本柱、すなわち労働条件の改善、サステナビリティと新自由主義の社会・経済政策の終焉、民主主義の再生と平和を歓迎し、共有します。

私たち CCOO は全労連のみなさんの価値観とたたかいを共有し、みなさんにあらためてご挨拶をお送りするとともに、全労連大会の成功と成果を祈念いたします。

連帯をこめて

クリスチナ・ファシアピン
CCOO 国際協力、移民部門書記

フランス労働総同盟 (CGT)

(ビデオメッセージ)

皆さんこんにちは。日本の労働者の期待に応える運動方針を決定する全労連大会に心からの祝意を送ります。そして日本のナショナルセンターで

初の女性議長になった小畑さんに祝意を送ります。

フランスでは、CGT やそのほかの労働組合の強力な運動によって最悪の事態を回避したところです。エマニュエル・マクロン大統領は、極右政党が支持を伸ばしているときに国民議会を解散し、総選挙を実施しました。私たちの運動によって、極右政党の過半数確保を阻止し、左派勢力がフランスの国民議会で第一勢力となりました。

現在状況は混沌としています。それは、左派勢力が議会で過半数を確保しておらず、マクロン大統領は自身の経済、社会政策を継続しようとしています。そのため、左派に政権を渡さず、暫定内閣を指名し役割を果たさせようとしています。

CGT は選挙結果が尊重されるように、また人々が必要としている政策を実現する政権発足に向けて引き続き運動を継続します。私たちは、マクロン政権による年金改悪を中止し、賃金を引き上げ、公共サービスを拡充させる政権の発足を求めています。

私たちの病院、介護施設、学校、大学、研究機関の状況は予算不足で状況が悪化しています。今こそ富裕層と大企業に課税し、社会的な予算に振り向けるべきです。

民間部門でも同じです。多国籍大企業は操業先で横暴勝手に振る舞い、何千もの雇用が失われています。今必要なのは政府が多国籍大企業に社会的、環境的な責任を果たさせるよう迫ることです。

日本の皆さんも、フランス同様極右勢力とのたたかいが重要な課題であることを知っています。世界でこの極右とのたたかいの重要性が増しており、私たちは各国の経験と分析の共有に取り組み、より力強い運動を組織しなければなりません。だからこそ、反ファシストネットワークの構築が必要であり、全労連の皆さんもこれに加わることを期待しています。

終わりに、極右の勢力拡大は戦争の拡大でもあります。世界平和と軍縮を目指すみなさんのたたかいで、CGT はともにたたかいます。

平和を保障するために国連や国際機関を強化しなければなりません。日本とNATOの軍事的強化と日本の軍拡に反対するみなさんの運動に連帯します。日本と同じようにフランスでも公共サービスを削って軍拡を続ける政策に私たちは反対しています。

極右の勢力拡大で、世界の労働組合運動はかつてない課題に直面しています。しかしフランスで

勝利したように、私たち労働組合運動には不可能なことはなく、課題に立ち向うことができます。

だからこそ、連帯！

フランス労働総同盟
書記長 ソフィー・ピネ

ベルギーキリスト教労組連盟 (ACV-CSC)

親愛なる代議員のみなさん

ベルギーキリスト教労連 (ACV-CSC) と加盟組織を代表し、全労連第 32 回定期大会に祝意を送ります。みなさんの大会では賃金引き上げを求める春闘のたたかいで成果を議論されるでしょう。大会で議論される課題や困難は、大変重要なものです。賃金引き上げを求める役員と代議員のみなさん、特に最低賃金レベルの収入しか得られず、長時間労働により労働時間と私的な時間のバランスの取れない労働者、より恒久的で安定した雇用を求める労働者の運動は、日本において、そして多くの工業国に共通する労働組合の課題です。

特に最近の物価上昇とインフレによって、労働者は強い交渉力を持つ労働組合を求めており、物価上昇に見合った賃金水準を確保することは極めて重要な課題です。

私たちは欧州でも自由化、労働法の規制緩和、労働市場のフレキシビリティの拡大政策が、弱い立場の労働者をさらに不安定にさせ、低賃金と社会的な保護のない雇用に追い込んでいることをよく知っています。

全労連が組合員の行動によって組織化し、立ち上がっているという事実は私たちを励ましています。それは訓練され、知識を備えた職場の活動家の存在は強い交渉力の基礎であり、多くの組合にとって簡単なことではないからです。

日本で平和を民主主義を守る、軍拡を阻止しようという全労連の運動に強く共感しています。この数年、アジアと欧州の少ない国々で声を上げる労働者と労働組合にとっての民主的なスペースが縮小しているからです。特に東アジア地域での軍事的な緊張の高まりは、潜在的な脅威を増し、労働者と労働組合にこれらの問題で声を上げることを要求していると思います。

みなさんの大会の成功、新しい運動方針の決定と新指導部の選出に期待をしています。

ACV-CSC 国際部
ジェロエン・ロスカムス

ベルギー労働総同盟 (FGTB)

親愛なる同志

ベルギー労働総同盟とその 150 万人の組合員を代表し、定期大会が実り多い討論で成功することを期待し、代議員と加盟組織のみなさんに連帯のご挨拶を送ります。

市民、特に労働者とその家族にとって困難な局面のもと、社会正義、平等、労働者の権利とディーセントな仕事と生活、民主主義と平和を目指す国際労働組合運動の価値と原則を想起し尊重することが極めて重要です。

連帯をこめて

FGTB 欧州国際局長
ラファエル・ラマス

オランダ労働組合連盟 (FNV)

FNV を代表し、全労連第 32 回定期大会が実り多いものとなるよう願っています。労働者の利益のための皆さんの活動とたたかいの方針が無事確立されることを期待します。

すべての労働者の権利が尊重される持続可能で攻勢な社会の確立に、みなさんが貢献されると確信しています。

連帯をこめて

ペトラ・ボルスター
FNV 執行委員、国際局長

ポルトガル労働総同盟 (CGTP-IN)

親愛なる同志のみなさん、

ポルトガル労働総同盟 (CGTP-IN) 執行委員会を代表して、すべての代議員のみなさんと全労連第 32 回定期大会に友愛の挨拶をお送りします。

私たちは、労働と労働者が大切にされるより公正な世界を求める日本の労働組合と労働者のたたかいに敬意を表します。

全労連の活動と参加によってこうしたたたかいは築かれてきました。賃上げを求め、生活必需品の価格高騰に反対し、より良い生活条件を求めて、また全労連の組織強化、拡大を求めて、重要な階級的たたかいが展開されています。

私たちはポルトガルで権利の擁護と獲得を保証するための労働者の運動とたたかいの強化に引き続きとりこんでいます。この数カ月間、ポルトガルの労働者は、賃上げと権利の向上を要求し、また不平等と搾取に抵抗する労働者共通のたたかいを前進させるため、さまざまなたたかい、ストラ

イキ、座り込みにとりくみました。また私たちは、団体交渉権と労働組合の自由を求め、不安定労働と労働時間の規制緩和を終わらせるためにたたかい続けています。

EU に縛られた政策を追求し続けるこの間のポルトガル政府は、搾取を強化し、大企業を優遇しています。政府は公共サービスの破壊と民営化を狙って、公共部門におけるキャリアや専門職を適切に評価しようとせず、公共サービス切り下げ政策を依然、続けています。こうした状況に直面した労働者、とりわけ公共サービスに従事する労働者の応答は、より良い生活・労働条件のために、また公共サービスと国家の社会的機能を守るために、たたかいに参加することでした。

資本主義の構造的危機が顕著な国際情勢のなかで、労働者が抱える問題、ニーズ、要求に資本主義が対応できないことは証明されています。大企業は、自分たちの利益とその蓄積を維持しようと躍起になっています。

こうした状況の影響は、世界の覇権を相対的に失った帝国主義が軍国主義化、戦争、ファシズムに傾倒し、攻撃性を強化するなかを表れています。

私たちは軍国主義、ゼノフォビア、差別主義、極右勢力による恥知らずなキャンペーンを目の当たりにしています。階級的な不和、搾取、貧困をさらに拡大する手段として、分断とヘイトの言葉が煽られています。

抵抗し、社会変革を前進させるために不可欠な原動力である労働者の連帯とたたかいをとおしてのみ、進歩と平和の道が見出せます。

すべての労働者の生活条件を改善するために必須の条件は、平和と軍縮です。

戦争は経済と国の発展を破壊し、常に大多数の人々を、すなわち労働者を最も苦しめます。

だからこそ私たちは、日本の労働者と人民が軍拡競争を終わらせ、緊張を緩和し世界平和を目指し、戦争、封鎖と制裁に厳しく反対してきたように、たたかわなければなりません。

CGTP-IN を代表し、私は全労連大会がこれらの課題に対応する方針を打ち出し、私たちと共に国際、国内の運動を強化する方針を採択すると確信しています。これまで労働者の連帯と団結に貢献してきた役員のみなさんの貢献を讃え、新しい指導部とも同様に連帯を強化していきたいと考えています。

最後に、CGTP-IN と全労連、そして両国の労働

者との間の歴史的な友好関係をさらに強化していきたいという希望を申し上げ、労働者階級の利益を守るためにさらに両組織の友好と連帯が強化されることを切に希望します。

ポルトガル労働総同盟 (CGTP-IN) 書記長
ティアゴ・オリベイラ

汎キプロス労働連盟 (PEO)

同志のみなさん、

汎キプロス労働連盟 (PEO) を代表し、私たちは全労連第 32 回定期大会に連帯のご挨拶を申し上げます。

全労連第 32 回定期大会は、世界中で経済的・社会的不平等が拡大し、ますます深刻化するなかで開催されています。この状況は、世界銀行や IMF といった国際組織、また地域地方レベルの支配的な政治権力が意図的かつ意識的に実施した経済政策の結果です。相次ぐ制度的危機は、賃金や労働者の権利に対する全面的な攻撃、国家の介入による公共投資や社会的支出の削減をもたらしました。

こんにち労働者の収入は、高いインフレ率によって再び脅かされています。

こうした政策が推進される過程で、労働組合の組織権、団体交渉権、スト権もまた攻撃され、労働組合運動の範囲と役割が弱体化しました。

私たちの国キプロスでは、私たちは労働の規制緩和、権利を伴わない低賃金の不安定雇用に反対し、たたかっています。

私たちは政府に対し、労働協約の適用を法的に義務づける規則、また労働協約適用外の労働者に対して最低限の権利を保障する規則の策定を要求しています。

また私たちが主張するもうひとつの目下の主要優先課題は、急騰する物価対策です。

私たちは、恒常的な物価上昇による労働者、年金者、社会的弱者に対する負担を軽減する社会政策の実施を求めてたたかっています。

同時にキプロスの労働者として、私たちの重要な優先課題は、キプロス問題の解決と祖国の統一です。

2024 年は、1974 年に起きたキプロス国民に対する二重の犯罪から 50 年目の年です。1974 年 7 月 15 日のマカリオス大統領が率いる選挙で選ばれた政府に対するクーデターとその後 7 月 20 日のトルコの侵攻は、何千人もの難民、死者、行方不明者を出し、島の 37% がトルコに占領され続ける

というキプロスの人々にとって先例のない悲劇でした。1974年以降、占領を終わらせ、キプロスの永続的な分割を阻止し、キプロスの人々を再統一するたたかいは、私たちの組織のとりのくみの重要な目標のひとつです。

私たちは、キプロスに関する国連決議にもとづき、二地域の政治的平等を伴う二地域共同連邦制による解決策を求めてたたかっています。

私たち労働者は、権利への攻撃に対し、また社会的進歩、正義、平和、安全保障に向けた条件づくりの要求に対し、連帯と相互支援で応えます。

私たちと全労連は共通する目標を掲げています。

私たちは、労働者の権利を擁護し、賃上げ、労働と生活条件のさらなる改善、人々の生活の向上、持続可能な環境と社会の実現を求め、軍事化と核武装に反対し、平和な世界を希求する全労連のみなさんの日々のたたかいとキャンペーンを大きな関心を持って注目しています。

私たちは、全労連第32回定期大会決定をとおして、全労連のみなさんが目標を達成されることを確信しています。

全労連第32回定期大会の成功を祈念します。

汎キプロス労働連盟（PEO）執行委員会

米電気機械無線労働組合（UE）

（ビデオメッセージ）

UE 執行部と何万の組合員を代表し、全労連の同志の皆さんに連帯とご挨拶を送ります。私たちは太平洋で隔てられていますが、戦闘的、民主的な労働組合運動によって、全世界で労働者を搾取している企業経営者のパワーと資本主義システムに対抗する運動に共に取り組んでいます。

この4月、竹下、布施両事務局次長をはじめ多くの全労連組合員をシカゴに迎えることができました。全労連の代表団とともにレイバーノーツ大会に参加し、両組合の大会参加者による昼食交流会も行い、経験交流を行いました。大会後も、全労連の代表団と私、マーク・マインスターUE 組織局長と交流し、日米両国の労働運動の課題とチャンスについて議論しました。

全労連大会は、住居、食料の高騰、戦争と強制的移住などに世界が直面し、特に右派政権によって社会的セーフティネットが破壊攻撃にさらされています。UE は全労連がこの春闘で賃金引き上げを目指し果敢にたたかい、さらに日本のすべての労働者のために最低賃金の引き上げの運動を継

続していることを賞賛します。米国で私たちは昨年 UE の労働協約改定交渉で大きな成果を挙げているのですが、まだかつてない企業収益に比べ私たちの奪われた賃金を取り戻すには至っていません。米国では特に若い労働者の階級的な戦闘性が高まっています。彼らは使用者や政府が青年の将来を約束してはくれないことを知り、それぞれの産業分野で戦闘的な労働運動をリードしています。

UE は全労連とともに平和を求め、ガザとウクライナでの戦争を終わらせるために立ち上がります。軍拡で儲けを上げるのは、戦争の武器を製造する企業以外にありません。私たちはバイデン政権がイスラエルの行動を効果的に抑止できないことに失望していますが、多くの UE 組合員によって大学のキャンパスで確固とした反戦行動が組織されていることに希望を見出しています。労働運動における他の仲間と共に、即時停戦と人権状況の回復を強く求め続けます。

今年、世界では記録的に多くの市民が選挙で投票します。多くの国木にて、右派の候補者や政党が勢力を伸ばしています。しかし私たちはメキシコ、英国、フランスの最近の選挙で左派候補や政党が当選、議席増を勝ち取り政権交代を実現していることに勇気づけられています。ここ米国では、労働者階級は私たちが心から投票したいと思える候補でない民主党と、さらに悪い共和党という二つの選択肢しかありません。トランプは仮に当選すれば、労働者、市民と地球を犠牲にして企業活動を強力に推し進め、政府を利用して労働運動など批判勢力の力を削ごうとするのは確実です。私たちは、今後もたたかい続けるために必要な選択をし、その後私たちに必要で相応しい労働者の党の結成を目指します。

全労連とUE、皆さん、そして労働者階級のため、団結し、労働者階級の戦闘性が発揮される世界という希望ある未来を目指しましょう。私たち両組織の組合員は組合員だけでなく、両国の社会をも動かすことができることを確信しています。

全労連大会に UE もメッセージを送る機会をいただいたことに感謝し、大会の成功を願っています。連帯をこめて。

米電機機械無線労働組合(UE)

議長 カール・ローゼン

全米自動車労働組合 (UAW)

ショーン・フェイン UAW 会長からのメッセージ

日本の労働組合のみなさんこんにちは。デトロイトの UAW 本部から連帯と全労連大会の成功を願っています。みなさんはこの大会で最低賃金引上げ、労働時間短縮、政府による労働法制改悪に反対する運動方針を議論し決定します。

世界の労働者と労働組合は、よりよい労働、生活条件、公正な社会と持続可能な環境、平和と民主主義のために声を上げ、立ち上がっています。日本と世界の労働者階級のたたかいに取り組み、勝利するための次のページを開こうしている全労連に連帯して立ち上がります。日本の労働者階級は、米国の労働者階級と同じような課題に直面していると思います。

しばしば、企業は異なった国の間で労働者を競わせ、国境を越えて連帯して立ち上がるのではなく互いに競争させようとしします。しかし私たちは団結しています！東京の本社での決定は、ケンタッキーの工場に影響します。昨年秋のストによる米国での大きな前進を知って、世界の労働者が立ち上がっていることに私たちは励まされています。

私たちが共に立ち上がれば、労働者は勝利できることを世界に示したいと思います。ご存じのように、UAW は昨年秋の三大自動車会社でのストライキの勝利に続き、米国の自動車工場の未組織職場の組織化キャンペーンを開始しています。

4 月には、テネシー州チャタヌーガで歴史が作られ、投票総数の 73% の賛成でフォルクスワーゲンの工場で労働組合が結成されました。新しい UAW 支部の組合員は、現在交渉委員会のメンバーを選出し、組合員への調査で要求作りを進めています。フォルクスワーゲンの経営側との交渉は困難なものになると予想されますが、最初の協約締結めざし団結して運動を進めると確信しています。

フォルクスワーゲンの勝利は歴史的でした。しかし皆さんよくご存じのように、よりよい、公正な世界を目指すたたかいで常に勝利できるわけではありません。5 月にはメルセデス・ベンツのアラバマ州の工場の組織化では敗北しました。しかし拗ねての失敗には、学ぶべき教訓があります。

メルセデスはメルセデスアラバマ工場の労働者に対し激しく、絶え間のない反組合キャンペーンを展開しました。労働者は攻撃され、労組結成反対の会議に呼びつけられ、中には解雇された労働者もいます。

つまるところ、メルセデスアラバマ工場の労働者は、組合認証選挙で公正な機会を与えられなかったのです。

メルセデスのような企業は労働者の権利に関して、社会的責任と人権に関する素晴らしい文書を公開していますが、アラバマ工場での労働組合結成に関して取った態度は全く異なっていました。私たちは同工場の労働者とともに、経営側を全国労使関係委員会に告発し、ドイツの人権デューデリジェンス法違反に基づく申し立ても行います。

私たちは日本の自動車企業、特にトヨタとホンダに立ち向かっています。両企業は組合攻撃キャンペーンを展開しています。

トヨタでは労働者の中の組合活動家を調べ上げいじめのような攻撃を繰り返しながら労働者の法的権利を侵害しています。組織化キャンペーンの最初のころ、21 人の労働者が就業時間外に、工場の作業エリア外で組合のリーフを配布しました。すぐに工場の警備員が近づいてきて、社員証を示し ID 番号を出すよう求めました。一方で使用者は労働組合攻撃のリーフを配布し、反抗見合いビデオまで作成しました。全く恥ずべきことです！

ホンダも露骨で見苦しい組合つぶしに関与し、全米労使関係委員会からそれらの行為に命令が出されています。労働者に UAW のシールやステッカーを外すよう強制し、組合支持者を違法に監視して脅迫するなどの組織化攻撃をしています。まったく受け入れがたいことです。

残念なことに米国労働法は弱く、ユニオンバスターや組合つぶしに加担する企業経営者にはごく軽い処罰しかありません。もし反対の立場なら、組合活動家は全員収監されていることでしょう。

これらのようなこと、またそれ以上のことがこれからの組合組織化キャンペーンで起こることでしょう。UAW はこれまでの成果を守り、認証選挙でのユニオンバスターや企業の攻撃から労働者を守る制度のためにたたかいます。

トランプの再選は、米国と世界の労働者階級の悲劇となります。アメリカでは民主的な機構を破壊し、公民権、労働者や女性の権利を攻撃し、団体交渉を破壊するでしょう。トランプと彼の政策は、富裕層 1% と大企業のための道具でしかありません。彼らは私たち労働者階級の団結が壊れることを願っています。

これから 11 月まで、右派の政策が現実化するのを阻止するために全力をあげます。私たちには反

撃の戦略があり、労働者が団結して立ち上がれば、ファシズムと企業の強欲に対抗することができます。専制主義と資本家は国境などないと考えていますから、私たち労働者階級もそうでなければなりません。

最後に、UAW は全労連と日本のすべての労働者と連帯し立ち上がります。全労連大会が、社会、経済的正義を取り戻し平和な世界を目指すたたかいの方針を決定することを願っています。

みなさんのたたかいは私たちのたたかいです。

なぜなら共にたたかえば、勝利できるからです！

米レイバーノーツ

レイバーノーツから、第 32 回定期大会の機会に全労連の同志や同僚のみなさんにメッセージを送ることができるのは大きな名誉です。レイバーノーツと全労連は、この 10 年余りで労働者階級の日々の生活の改善とより大きな運動の構築に向けて 進歩的な経済、社会と政治の実現に向けて 強固なパートナーとなってきました。私たちはこのパートナーシップを高く評価し、みなさんのたゆめぬ努力に賞賛を送ります。

みなさんが直面しているインフレと賃金低下、労働強化と人員不足、使用者による労働者いじめ、民営化とアウトソーシング、医療、教育、環境保護などの公共サービスの崩壊などの問題は、ここ米国で私たちが運動の中心課題としているものと同じです。

幸運にもレイバーノーツと全労連は、強力で、組合員に情報が共有され、運動への参加、そして人間性の破壊への多くの攻撃に抵抗するためにより戦闘的な労働者階級が必要であることを理解しています。経験、戦略と戦術、理論と教育を共に学ぶことを通じ、私たちをそれぞれ強化していきます。

これらの原則に立ったレイバーノーツと全労連の協力関係がさらに強化、継続することを期待し、これからも多くの共同した、生産的な交流が実現することを楽しみにしています。

全労連第 32 回定期大会に敬意と祝意を送り、レイバーノーツからの連帯のメッセージとします。

エレン・デービッド・フリードマン
レイバーノーツ運営委員長

メキシコ真正労働戦線 (FAT)

黒澤幸一全労連事務局長、

メキシコ真正労働戦線(FAT)に結集する労働者を代表し、私たち兄弟姉妹の挨拶を全労連と全労連の組合員のみなさんにお送りします。

私たちは、全労連が第 32 回定期大会を開催し、今後 2 年間の全労連のたたかいと挑戦の運動方針を検討し、また指導部を選出することを知り、嬉しく思っています。

私たちメキシコの労働者はこの 6 年間、多くを経験しました。

2019 年、連邦労働法が改正されました。この改正によって支配的だった労働モデルが変化しました。たとえば労働組合の民主化です。今回の改正によって、労働者を真に代表する新たな労働組合の結成が可能になりました。また強調すべきもう一つの重要な点は、多くの労働者が自由で個人的な直接投票あるいは秘密投票をとおして、新たな労働者代表を選出していることです。とはいえすべての労働組合がこうした民主化を実現するには、まだ不十分です。

賃金の課題では、この 6 年間で最賃が 2017 年の 89.9 ペソから 2024 年の 1 日あたり 248.93 ペソに引き上げられました。この最賃引上げによって、最賃で働く約 400 万労働者の賃金が改善されたことは言うまでもありません。とはいえ同時に、私たちはインフレによる物価上昇に直面しているため、最賃の引上げ分は帳消しです。アウトソーシングや孫請けは規制され、法定休日数も増加しました。またテレワークに関する法令が策定されました。新型コロナウイルス感染症のパンデミック以降も一部の分野でテレワークが引き続き行われているからです。

メキシコでは約 3,000 万人の労働者が賃金、社会保障、福利厚生といった権利のない、いわゆる非正規労働で働いていますが、労働組合員にとって重要な変化がまぎれもなく起きています。その変化は、労働条件と家族の生活の改善を求める労働者の不断のたたかいがもたらしたものです。私たちメキシコ真正労働戦線はつねにそのたたかいのなかに存在しています。

女性に関連する課題では、私たちは委員会や取締役会に女性が参画すること、また団体協約の条項に女性の要求が確実に反映されることを要求しました。メキシコ政府は、性的暴力のない社会家族環境をめざす暴力とハラスメントに関する

IL0190 号条約を批准しました。

メキシコでは 6 月に大統領選挙、州選挙、市議会議員選挙、そして下院議員選挙、上院議員選挙が行われ、クラウディア・シェインバウム氏がメキシコ初の女性大統領に選出されました。メキシコの歴史上、初めての出来事です。

メキシコ真正労働戦線のまえに、多くのチャレンジが存在していることを私たちは認識しています。なかでもとりわけ重要な課題は、労働時間の週 40 時間への削減であり、いま議論しているところです。私たちは、新自由主義的体制が世界中の労働者の経済状態を悪化させていることを認識しています。私たちメキシコ真正労働戦線において、労働者の学習と組織化は、自主とより良い生活条件を勝ち取るための基本的な柱であり、前提条件です。

これまでメキシコで暮らしている私たちの状況をみなさんと若干、共有できたのではないかと思います。みなさんがお気づきのように、私たちは同じ課題を共有し、同じように戦争や軍事化のない平和な世界の構築を希求しています。

私たちは、全労連の定期大会が建設的な雰囲気の中で開催され、みなさんの決定が引き続き全労連を強化し、こんにち直面している困難を克服することを祈念します。友情、団結、連帯の絆を共有し続けることを期待しています。

連帯をこめて

メキシコ真正労働戦線 (FAT)
¡労働者階級の自主をめざして!

ブラジル中央統一労働組合 (CUT)

親愛な全労連の同志のみなさん、

ブラジル中央統一労働組合 (CUT) の何百万人もの労働者を代表し、2024 年 7 月 25 ~ 27 日、東京で開催される全労連第 32 回定期大会に参加される労働組合と組合員のみなさんにお祝いを申し上げます。

私たちは、社会的立場の弱い労働者に不均衡に、深刻に影響するインフレ、物価高騰、低賃金といった困難に挑戦する全労連の努力を支持します。また私たちは、すべての労働者の平等な条件を求めるたたかひのなかで、全労連が女性労働者、青年労働者、不安定雇用労働者を組織していることを嬉しく思います。

私たちは、持続可能な循環型経済を求め、日本国憲法の平和主義的、民主主義的価値の核心を擁

護する全労連のたたかひを支持します。全労連は、大多数の人々を犠牲にして一部の人が利益を得る経済や労働者の権利に対する新自由主義的攻撃、また極右勢力の台頭とたたかっています。

環境、平和、多様性、移民、すべての人々のための公正な労働条件といったグローバルなこんにちの課題は、すべてが相互に関連しています。私たちブラジル中央統一労働組合は、個別的な行動ではなく共同行動のなかで解決策が見出せると確信しています。世界の労働者は、連帯によってさらに強くなります。まさにそのとおりです。私たちと全労連の友情と協力をとおして、ともに解決策を追求することは、より公正で平和で協力的な世界を実現する鍵になります。

全労連定期大会の成功を祈念するとともに、選出された全労連新執行部と大会が決定した今後の方針についてお話を伺うのを楽しみにしています。

ブラジル中央統一労働組合 (CUT)
国際関係書記アントニオ・リスボア

アルゼンチン自主労働者センター (CTAA)

(ビデオメッセージ)

アルゼンチン自主労働者センター (CTAA) のリカルド・ペイドロです。

定期大会を開催する全労連の仲間のみなさんに、アルゼンチン自主労働者センターのすべての組合員から熱烈な抱擁をお送りします。

私たちは、これまで全労連が労働者の権利、賃金、組織強化のためにたたかってきたことを知っています。みなさんのその努力はかならず、定期大会をとおして結実します。

私たちの労働組合センターの歴史は、全労連と私たちが同じ道を進んでいることを示しています。世界の平和、連帯、正義を求める私たちを待ち受けているたたかひのなかで、そのことはかならず明らかになるでしょう。

仲間のみなさんに抱擁を送ります。

勝利は私たちの手に!

アルゼンチン自主労働者センター (CTAA)
書記次長 リカルド・ペイドロ

世界労働組合連盟 (WFTU)

親愛な全労連の仲間のみなさん、

世界労働組合総連合 (WFTU) を代表し、2024 年 7 月 25 ~ 27 日、東京で開催される第 32 回全労連定期大会に参加されるみなさんに、心から挨拶

と連帯をお送りします。戦闘的な労働組合運動を強化するものは大会の議論です。そしてこんにちの状況は、攻撃に晒された労働者の権利を守るためにも、労働者の運動が生産的かつ組織的、強力、大規模、戦闘的になることを求めています！

全労連第 32 回定期大会は、資本主義的危機の普遍化と深化、社会的不平等の深刻な拡大、民主主義と労働組合の自由に対する新たな激しい攻撃を特徴とする時代に開催されています。帝国主義的侵略は拡大し、ガザにおけるジェノサイドはその最たる例です。

生活費の高騰とインフレによって、労働者と年金生活者の生活水準は容赦なく引き下げられています。団結権と団体交渉権もまた攻撃されています。

個人契約、民営化、アウトソーシング、テレワーク、サービス・リースなどは、過酷な新自由主義的攻撃が押し付ける形態のほんの一部です。

社会保障や公的医療といった重要な社会的成果が民営化されるいっぽうで、権威主義的に、一方的に、定年年齢の引き上げが粛々と続いています。

日本の状況もこのグローバルな現実とあまり変わりません。

みなさんの過去 2 年間のたたかい、とりわけ物価急騰と実質賃金の低下という経済的困難に直面したみなさんのたたかいは、極めて重要な成果を勝ち取っただけでなく、団体行動と連帯の力を証明しました。

私たち世界労連は賃上げ、労働時間短縮、最賃引き上げ、労働法制改悪とのたたかい、労働者の権利擁護に焦点をあてて今後 2 年間の戦略的方向を決定するみなさんに連帯します。

こんにちの世界の発展は平和、連帯、平等、社会正義の原則と価値を擁護する勢力の協力と統一行動を求めています。私たち世界労連は、全労連のことを同じ原則と価値を擁護する常に誠実な仲間だと思っています。

私たちに共通するたたかいがさらに強化されることを願いつつ、全労連定期大会の成功を祈念します。私たちは、みなさんが決定した方針が日本の労働者のたたかいをさらに強化することを確信します。

連帯をこめて

世界労連書記長
パンビス・キリツィス

建築木材建築資材労働組合インタナショナル (UITBB)

全労連第 32 回定期大会に際して、私たち建築インター (UITBB) は心から全労連に支援と連帯を表明します。私たちは、日本国民が直面する多くの課題に奮闘する全労連との強い関係を極めて誇りに思っています。

日本の労働者の前に物価高騰、岸田内閣による新自由主義的政策、日本社会の軍国化など、多くの困難が立ちはだかっています。全労連第 32 回大会は、労働者の賃上げを求め、岸田政権が進める労働法制改悪とたたかい、日本の平和憲法を擁護し、日本のさらなる軍国主義化や新たな軍事同盟に反対し、将来への道筋を切り開きつつ、困難にとりくむ大会になるでしょう。

UITBB はこうした全労連の目標を全面的に支持、賛同します。といたしますのも労働者や一般の市民が直面する極めて困難な状況のなかで、全労連の主張の正当性はいまや証明されているからです。パレスチナやウクライナでの戦争、忍び寄る核戦争の危機、日本と世界中の労働者のさまざまな既得権に対する資本の攻撃をとおして、私たちが共有する主張の真価があらためて明らかになりました。同志のみなさん、私たちにたたかい続ける力を与えているものは、私たちが歴史の正しい側に立っているという、まさにその真実です。

階級的全国組織として私たち UITBB は、国際連帯の重要な役割を深く理解し、全労連大会の代議員のみなさんに国際連帯を表明します。また日本の同志のみなさんのあらゆる奮闘の成功を祈念しつつ、日本の労働者階級との揺るぎない連帯を表明します。

日本の労働者と日本社会全体のため、全労連大会がそのすべての目標を達成することを祈念します。UITBB は、さらに強い全労連のために、全労連の同志のみなさんとともに立ち、ともに前進します！

国際連帯万歳、
全労連万歳、

UITBB 書記長ミカリス・パパニコラウ

国際労働組合権利センター (ICTUR)

全労連黒澤事務局長、

全労連第 32 回定期大会に際して、ロンドンの国際労働組合権利センター (ICTUR) から、みなさんに挨拶をお送りします！

私たちは、全労連大会の成功とともに、日本の労働組合員と労働者の労働条件、生活条件を改善するためにたたかい続ける全労連のみなさんの粘り強い奮闘の成功を祈念します。

国際労働組合権利センターは、労働法制改悪に反対し、持続可能な経済を求め、新自由主義的な経済社会政策から脱却し、平和を求めて軍国化に反対するみなさんのたたかいを歓迎し、支援します。

私たちは、労働組合の国際連帯に対する全労連の関わり、私たち国際労働権利センターのとりくみへの参加、世界の労働組合による権利擁護のキャンペーンに向けた全労連の長年の支持を高く評価し、敬意を表します。

私たちはより平等な未来を求める全労連の信念を共有するとともに、持続可能な社会環境の重要性と平和と民主主義に対する世界のさらなる関わりを求める全労連のみなさんを支持します。

国際労働組合権利センター（ICTUR）
事務局長ダニエル・ブラックバーン

* これ以降に到着したメッセージはホームページなどで紹介します。

（以上）